

# 中学通信

3月号 第58号

編集発行

安八郡輪之内中学校

PTA 会報委員会

印刷所 有限会社 大急印刷

発行 平成元年3月

「たくましい体」

筋肉があどる

汗がとび散る

力と力、技と技

そんな体が

清い心を生み

明日の希望を満たし

生きる喜びを

与えてくれる。



卒業記念  
文部省

# 修得主義に徹した人生を

学 校 量 国 枝 三 郎

築きあげよう

渡 辺 勝 久

巣立つ君達へ

富 田 修 平

担任からひとこと

ちをもった人間になつてくれる  
ことも、私は心から願う。

業を終える。卒業とは何を終  
えるのでしょうか。

確かに、法律では義務教育を  
終え、親が子に学校へ通わせる  
義務は終了します。

高等学校以上の進学は、本人  
つまり卒業生の意志によって進  
むことを親は、事情の許す限り  
援助はしてくれます。

考えてみれば、中学校生活を  
終了するまでは、温室育ちの草  
花のように、春の陽射しを受け  
て養育されてきました。これか  
らは、夏の暑い太陽や嵐や冬の  
厳しい寒さにも、自分の力で生  
きていくことになります。

這えば立て、立てば歩めと、  
皆さんのが誕生して以来今日まで  
「ひとり立ちのできる人間を」  
目指して生き方を学んできまし  
た。中学校卒業までの足跡をふり  
返ってみてください。

大多数人の人は、文字通り無事  
に卒業することができる訳です  
が、中には、年数が来て自動的  
に卒業しただけと言う人もいる  
でしょう。

これから先は違います。自分

の努力と行為だけが頼りです。  
世の中には二つの卒業の仕方  
があります。

一つは履習主義といつて、一  
通りのコースや期間を終了すれ  
ば資格が与えられたり、卒業で  
きるコースです。小学校・中学  
校は、まさにその一つでありま  
す。学習したことや、人として  
身につけなければならないこと  
が確実に自分のものになつてお  
らなくとも、年月が経てば卒業  
できる組みになつています。

しかし、社会で自分の力で生  
きていくには、それでは通用し  
ません。

今までの皆さん、大部分が  
履習主義の温床の中で、甘やか  
され、保護されて育つてきました。  
た。これからは違います。  
それは、修得主義という考え方  
方です。

自動車の免許、医師の免許、  
弁護士の資格、その他資格や免  
許のいるものの多くは修得主義  
と言われるものです。

実際に出来るようになって始め  
た。中学校卒業までの足跡をふり  
返ってみてください。

て理解したと言えるのです。  
わかつただけでは理解したと  
は言えないのです。わかったこ  
とが出来るようになってこそ理  
解したと認められるのです。

中学校卒業後は、すべてが修  
得主義を信条にして、一步一步  
人生の目標に向って努力してほ  
しいと願つております。

とにかく、皆さん、今日ま  
で無事に日々を過ごすことので  
きたのは、親、地域、国がどれ  
だけの援助があったか量り知れ  
ないものがあります。

そして、皆さんと共に学校で  
学んだ友人たち。

卒業おめでとう。

思い起せば、君達が、あの  
可愛いらしかった一年生になっ  
てから、早いもので三年が過ぎ  
去ろうとしている。と思うと同  
時に、いろいろな思い出が走馬  
燈のように駆け廻っている。

「別れ」は、新しい出発<sup>（虚子）</sup>  
でもある。その旅立ちに先立つ  
て、高村光太郎の詩「道程」に  
あるように、自分の道は誰でも  
ない自分で築きあげていくのだ  
といふ言葉を最後に、新しい旅  
立ちを祝うこととする。

九ヶ年の義務教育を終えて、  
新しい大空へはばたこうとする  
一三九名の生徒諸君、卒業おめ  
でとう。

このめでたい巣立ちに際して  
先生はひとつ詩歌を贈りたい  
と思います。

「春風や鬱志いだきて丘に立つ」

これから君たちを待ち受けて  
いる社会は、常に競争すること  
を要求する社会だとと思います。  
競争すれば、勝つ者と負ける  
者ができます。多くの人が敗  
者として、悔しい思いをしなけ  
ればならないことでしょう。

あなたが敗者になった時、ど  
うしますか。私は、あなたたち  
たぶん君たち自身も自覚して  
いるとは思うが、この一年で君  
たちは人間として大きく成長し  
た。体育祭、文化祭、ロードレ  
ース大会、歌声コンクールなど  
の行事を通して、体で学んだも  
のを大切にしてほしいと思う。  
そのことを学ぶに当つて一つ  
を確実に身につけ、それが思ひや  
りで、心の豊かな人であること  
を最後に贈りたい。

# 祝 卒業 (139名)



## 在校生から贈ることば

卒業おめでとう  
一年 野村 健

もう少しで、先輩たちといっしょに暮してきました。先輩たちには、苦しくて、忙しい一年間だったと思います。その忙しい中で、ぼくたち後輩を指導し、きいてくれました。

体育祭、文化祭の時の一生懸命に取り組む姿は、とてもすばらしかったです。

部活や委員会活動、何をとっても、先輩たちはぼくたちのお手本でした。自分自身に負けないようにならなくてはいけない

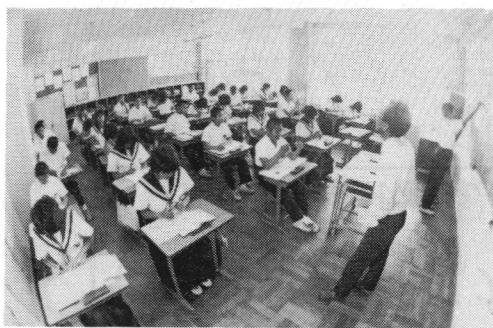
卒業される先輩方へ

二年 青木保子

私たちが入学したときには、はじめてだったことがあって、何もわからなくて先輩たちに注意をうけることもありました。でも、いろいろ教えてもらいました。こんな体験はどの先輩も経験はあったと思います。高校に入つてもわからないことはたくさんあると思うので、くじけそうになつても、たくさんのがんばってください。

# 一組 学級目標

## 己



一心岩をもくだく 相蘇 和也  
既往は咎めず 浅野 秀行  
天を怨みず、人を尤めず 母  
往者は諫めず、来者は追うべし 父  
いざ、大空へ羽ばたかん 浅野 実輝彦  
続縁は力なり 真実 一路  
信頼される人になれ 大谷 智幸  
いざ、大空へ羽ばたかん 大橋 英人  
身心の鍛練 近藤 忍

一心岩をもくだく 相蘇 和也  
既往は咎めず 浅野 秀行  
天を怨みず、人を尤めず 母  
往者は諫めず、来者は追うべし 父  
いざ、大空へ羽ばたかん 浅野 実輝彦  
続縁は力なり 真実 一路  
信頼される人になれ 大谷 智幸  
いざ、大空へ羽ばたかん 大橋 英人  
身心の鍛練 近藤 忍

一心岩をもくだく 相蘇 和也  
既往は咎めず 浅野 秀行  
天を怨みず、人を尤めず 母  
往者は諫めず、来者は追うべし 父  
いざ、大空へ羽ばたかん 浅野 実輝彦  
続縁は力なり 真実 一路  
信頼される人になれ 大谷 智幸  
いざ、大空へ羽ばたかん 大橋 英人  
身心の鍛練 近藤 忍

一寸の光陰軽んすべからず  
真実は万事の大本なり

真実は万事の大本なり  
真実は万事の大本なり

一寸の光陰軽んすべからず  
真実は万事の大本なり

一寸の光陰軽んすべからず  
真実は万事の大本なり

一寸の光陰軽んすべからず  
真実は万事の大本なり

一心岩をもくだく 相蘇 和也  
既往は咎めず 浅野 秀行  
天を怨みず、人を尤めず 母  
往者は諫めず、来者は追うべし 父  
いざ、大空へ羽ばたかん 浅野 実輝彦  
続縁は力なり 真実 一路  
信頼される人になれ 大谷 智幸  
いざ、大空へ羽ばたかん 大橋 英人  
身心の鍛練 近藤 忍

一心岩をもくだく 相蘇 和也  
既往は咎めず 浅野 秀行  
天を怨みず、人を尤めず 母  
往者は諫めず、来者は追うべし 父  
いざ、大空へ羽ばたかん 浅野 実輝彦  
続縁は力なり 真実 一路  
信頼される人になれ 大谷 智幸  
いざ、大空へ羽ばたかん 大橋 英人  
身心の鍛練 近藤 忍

一心岩をもくだく 相蘇 和也  
既往は咎めず 浅野 秀行  
天を怨みず、人を尤めず 母  
往者は諫めず、来者は追うべし 父  
いざ、大空へ羽ばたかん 浅野 実輝彦  
続縁は力なり 真実 一路  
信頼される人になれ 大谷 智幸  
いざ、大空へ羽ばたかん 大橋 英人  
身心の鍛練 近藤 忍



何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢

何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢

何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢

何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢

何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢

何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢

何事にも、誠心誠意尽くす 父  
社会の世果は広し 友達は宝  
一つしかない命。一生 全て愛する心  
背水の陣 努力 信賞必罰  
百の言葉より一つの実行 精神一到何事か成らやうん  
夢





# 二組 学級目標 完全燃焼

|  |       |                                       |
|--|-------|---------------------------------------|
| Step by Step                                 | 伊藤 公司 | 怖れず 勇ましく未知の世界に<br>夢多ければ空になるほど多く<br>往け |
| 未来 希望をもつて前進                                  | 父     | 一寸の光陰軽んすべからず                          |
| 言つは易く行うは難し                                   |       |                                       |
| 学問に近道なし                                      |       |                                       |
| ローマは一日にして成らず                                 |       |                                       |
| 岡田 勝三  | 棚橋 伸孝 | 人の道何事も信念を持って努力                        |
| 母  | 父     | 激走 渡辺 努                               |
| せよ   |       | 今旅立ちの時、君の未来に幸多                        |
| 小野 茂雄  | 中嶋伸一郎 | かれ                                    |
| 父  | 父     | 歳月人を待たず                               |
| 終生修業   |       |                                       |
| なせばなる、なさねばならぬ何<br>事も                         |       |                                       |
| Well they the sky's the<br>limit. (人間に限界はない) |       |                                       |
| 小野 茂雄  | 朝倉 誠子 | 人には優しく、自分には厳しく                        |
| 父  | 母     | 生きぬこう                                 |
| 大きな翼で羽ばたけ平成の道                                |       | 水は万円の器に隨う                             |
| 苦あれば楽あり                                      | 河瀬 宣仁 | 荒川三津代                                 |
| 父  | 母     | 努力と忍耐                                 |
| 後悔さきに立たず                                     |       | 董雪の功                                  |
| 努力すれば道が開け希望をつな<br>いでくれる                      | 伊藤 智子 | 杉山 智美                                 |
| 何事も、まず始めなければなら<br>ぬ                          | 父     | 先は長い、真っすぐ進め                           |
| そして伝説へ…… 北島 和宏                               |       | いつまでも夢追い人でありたい                        |
| 二度とない人生悔のない青春を                               |       | 田中 忍                                  |
| ローマは一日にして成らず                                 |       | 忍耐は成功への鍵                              |
| 光陰矢の如し                                       | 小寺 昭二 | 努力と忍耐                                 |
| 精神一到何事が成らざらん                                 | 父     | 董雪の功                                  |
| 杉山 広幸  | 細野 元男 | 先は長い、真っすぐ進め                           |
| なんじ、すべて鏡であれ                                  | 母     | いつまでも夢追い人でありたい                        |
| 牧野 靖弘  | 加納美佳子 | 田中 忍                                  |
| 父  | 母     | 忍耐は成功への鍵                              |
| 世は潤潤して分かたれず                                  |       |                                       |
| 人生七転八起                                       | 大橋 真弓 | 努力と忍耐                                 |
| 七転八起   | 岡崎利恵美 | 董雪の功                                  |
| 己に厳しく人に優しく                                   |       | 先は長い、真っすぐ進め                           |
| 根性一倍、努力一倍                                    |       | いつまでも夢追い人でありたい                        |
| 木村 里美  |       | 田中 忍                                  |
| 希望は心の太陽である                                   |       | 忍耐は成功への鍵                              |
| 身を殺して仁を成す                                    |       |                                       |



照隅

志ある者は事ついに成る

国島

尚美

母

我が身をつねて人の痛みを知  
れ

森島 靖一

父

Reach for the top.

父

怖れず 勇ましく未知の世界に  
夢多ければ空になるほど多く  
往け

父

「内観」「専心」

父

Don't give up on my

父

怖れず 勇ましく未知の世界に  
夢多ければ空になるほど多く  
往け

父

3年  
3





# 開拓精神

PTA会長 浅野瑛一

という、高村光太郎の詩のよう  
に、自分の道を切り開いてこそ、  
ほんとうの生き甲斐の人生だと  
思います。

さあ、希望と勇気を持って、  
進んでください。

三年生の諸君、卒業おめでとう。希望と不安の入りまじった複雑な気持で入学され、勉強に部活にと、そそき込まれた、三年間の青春の思い出が、走馬燈の様に通り過ぎ去り、今新しい旅立ちをしようとしている。

二十世紀から二十一世紀への、この歴史の転換期に当る卒業生諸君の将来は、まさに、日々百変化の様相を、呈するであります。でも、輪中で培かった、知識と根性を持つて進めば、おのずと道は開けると思います。校訓の「開拓精神」を常に忘れず、輪之内中学校の卒業生であると云う、誇りと自信を持つて、誰にも恥じる事のない、前向きの人生を送ってほしい。ぼくの前に道はない

ぱくの後に道はできる

# 学年PTA代表から

来年も、より前向きに

一年代表 浅野仁辰

二年代表 国島まさき

新しい門出に際し

三年代表 森島光明

三年間の中学校生活も、また

たく間に過ぎてしまいました。

特にこの一年は短く感じられた

のではないでしょうか。

まずもって、卒業生の皆様に、は、おめでとうございます。

さて、一年生のこの一年間を振り返ってみると、非行問題を見つめないと、高校の三年間が、あともどりの人生となりま

す。

少年老い易く、学成り難い時は常に、過ぎてゆきます。目標をしつかり定め、それに向つて、一步一歩確実に近づく様にたゆまない努力を、続けてください。諸君の将来に、幸多かれ

徒の皆さん一人一人も、自覚し合い、前進された事だと思います。

一年生からは、高校や各種学校への進学、あるいは就職等、進路問題も心がけていかなくてはなりません。そのためには、

毎日部活に勉強に、より前向きな姿勢が必要になってきます。

今年一年で学んだ事、初心を忘れずに、がんばって下さい。

最後になりましたが、PTA

の皆様には、この一年間何かとご協力頂き、誠にありがとうございました。また、ご迷惑をかけました。また、ご迷惑をかけました事をお詫び申し上げま

せます。

すばらしい先生方、御父兄、

役員の方々に支えていただきま

した事を、私は一生忘れる事は

ないでしょう。厚くお礼申し上

げます。

歌声では、全員大合唱の「雪原に生きる」がすばらしかつた。その力強く、澄んだ歌声は眼前に広く白い大地を浮かび上らせ、私に思わず、涙させてし

まつた。

私達人間は一人ひとり、能力も、体力も、考え方があります

お互に助け合い、それぞれもつて生まれた才能を存分に伸ばし

自分に打ち勝ち苦しさに立ち向つて強く強い心と努力を忘れず

活躍される事を祈ります。